



令和7年2月26日

福生市 定例記者会見資料

資料 3-14

福生市は「ゼロカーボンシティ」を宣言します！

福生市は、2月26日にゼロカーボンシティを宣言します。

世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて1.5℃に抑える努力を追求するという世界的な目標の達成に向けて、世界や国の動きに足並みをそろえ、福生市においても地球温暖化対策に関する取り組みを強化する必要があることから、本宣言を実施します。

■宣言の背景について

平成27年に採択された「パリ協定」により、「世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて1.5℃に抑える努力を追求する」ことが世界的な目標となりましたが、地球温暖化は年々深刻さを増しており、目標達成のためには令和32年までに世界の温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることが必要とされています。

令和6年3月に策定した「第2次福生市環境基本計画」において、気候変動対策に関する基本的な考え方として、「市でも国の動きに足並みをそろえ、目標達成に向けた取り組みを強化する必要がある」ととらえており、この考え方を明確化するため、今回の宣言を実施します。

■宣言について

【宣言日】2月26日

【宣言内容】別紙のとおり

■温室効果ガス排出量削減に向けた市の取り組みについて

市ではこれまでも、市庁舎での設備更新型ESCO事業、学校校庭照明のLED化などの省エネ対策のほか、福生市環境マネジメントシステム「F-e」の運用により、市の事務事業からの温室効果ガス排出量削減に向けて取り組んできました。

また、民営の保育園の改修にあたっては、施設運営における環境負荷低減の重要性を説明した上で補助金交付を行うことで、太陽光パネル・蓄電池等の再生可能エネルギー設備の導入を促しています。

こうした取り組みを今後も継続していくことに加え、宣言を契機に新たな取組も検討していきます。

【問合せ】環境政策課環境政策係 TEL042-551-1718



福生市ゼロカーボンシティ宣言

平成 27 (2015) 年に採択された「パリ協定」により、「世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて、1.5℃に抑える努力を追求する」ことが世界的な目標となりました。

IPCC(国連の気候変動に関する政府間パネル)の特別報告書では、平成 30(2018)年には「パリ協定の目標を達成するためには、令和 32 (2050) 年までに世界の温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることが必要」、令和 5 (2023) 年には「パリ協定の目標を達成するためには、この 10 年間で急速かつ大幅な温室効果ガスの削減が必要」であることが示されています。

国においても、令和 2 (2020) 年 10 月に 2050 年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「カーボンニュートラル」が宣言され、令和 4 (2022) 年 4 月に施行された改正地球温暖化対策推進法の基本理念にも「2050 年までの脱炭素社会の実現」が掲げられました。

福生市は多摩川や玉川上水、熊川分水といった水辺が近く、河川・水路沿いの緑地など、身近な自然に親しむことができる環境があります。

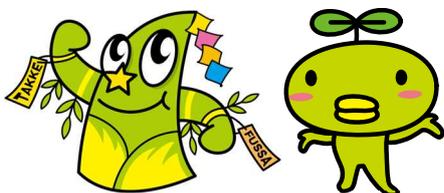
こうした豊かな自然環境を守り、未来に残していくためにも、世界や国の動きに足並みをそろえ、福生市においても 2050 年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとする目標達成に向けて、取組を強化する必要があります。

令和 6 (2024) 年 3 月に策定した第 2 次福生市環境基本計画では、目指すべき将来像を「私たちが変わり 私たちが変える エコシティふっさ」としています。

「エコシティふっさ」を実現するには、市民・事業者・行政がそれぞれの立場で、また時には協働して、環境について考え、行動することが必要です。

こうしたことから、福生市は、市民・事業者・行政が一体となって地球温暖化対策に積極的に取り組み、2050 年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとする、ゼロカーボンシティの実現を目指すことをここに宣言します。

令和 7 (2025) 年 2 月 26 日



福生市公式キャラクター たっけー☆☆ ©ebo eriko

福生市長

加藤 育男

(名前は署名)